

平成20年度海洋関連施策の概要

海洋を利用する

- ①海洋産業の振興等による安定的な海上輸送の確保 ②排他的経済水域等における水産・鉱物資源の積極的な開発・利用 等

○海運の国際競争力強化、日本船・日本人船員の確保・育成
161百万円(81百万円)【法律改正】【税制改正】 (国土交通省)

○国際海上輸送網の拠点となるスーパー中枢港湾の整備
60,217百万円(52,657百万円) (国土交通省)

○漁業の構造改革推進等による漁業経営体の経営力向上の促進
10,206百万円(5,000百万円) (農林水産省)

海洋を知る

- ①海洋の開発・利用・保全のための海洋状況把握 ②海洋科学技術に関する研究開発の推進 等

○三次元物理探査船等による石油・天然ガス賦存状況の調査
15,163百万円(11,345百万円) (経済産業省)

○海底熱水鉱床の開発に向けた採鉱技術、環境影響予測手法等の調査
500百万円【新規】 (経済産業省)

○領海、排他的経済水域における海底地形・地殻構造等の調査
1,338百万円【新規】 (国土交通省)

○大陸棚の限界画定のための調査
2,574百万円(11,661百万円) (内閣官房、経済産業省、国土交通省等)

○海洋研究の基盤となる地球環境観測、深海底探査プロジェクト等の推進
38,760百万円(38,000百万円) (文部科学省)

○海洋資源の利用促進に向けた基盤ツール開発プログラム
400百万円【新規】 (文部科学省)

○東海・東南海・南海地震の連動性評価研究の推進
495百万円【新規】 (文部科学省)

○異常気象に対応するための海洋変動監視装置の整備及び情報の提供
13百万円【新規】 (国土交通省)

○高度海洋監視システムの運用等による海洋情報の収集・提供
867百万円(783百万円) (国土交通省)

予算額については、
H20予算案(H19予算額)

海洋を守る

- ①海上の安全・治安の確保 ②離島の保全 ③海洋環境の保全
④災害の未然防止 等

○海上の安全、治安の確保等のための巡視船艇・航空機等の緊急整備、「空き巡視艇ゼロ作戦」の推進

39,458百万円(39,489百万円) (国土交通省)

○我が国周辺海域における武装工作船等への対応強化
105,715百万円(30,219百万円) (防衛省)

○離島航路の維持・改善
4,095百万円(3,844百万円) (国土交通省)

○国境周辺の離島の国家的役割の評価、保全・利活用等に関する調査
14百万円【新規】 (国土交通省)

○漂流・漂着ゴミ及び流木の処理に対する支援及び効率的な処理方法の調査
550百万円(546百万円)(※) (農林水産省、国土交通省、環境省)

○船舶の省エネ技術の開発による海上輸送のCO2削減(「海の10モード」等)
230百万円(94百万円) (国土交通省)

国際協力

- ①海洋に関する国際的な連携の確保 ②海洋について国際社会に対する我が国の積極的な貢献 等

○アジア太平洋地域の生物多様性の保全のための協力
125百万円(116百万円) (環境省)

○漁業資源の持続的な利用のための水産分野における協力
1,172百万円(1,227百万円) (農林水産省)

○マラッカ・シンガポール海峡安全確保に必要な協力
61百万円(50百万円) (外務省、国土交通省)

【注】(※)の額には海洋施策分を特定できない予算を含まない。

合計額

H20予算案:1兆3,381億円(H19予算額:1兆4,337億円)